

幻冬舎フィルム第一回作品

2026年
10月18日
(日)

全ての横田慎太郎に捧ぐ。

栄光の



ホーム



製作総指揮：見城 徹 ／ 依田 巽

原作：「奇跡のバックホーム」横田慎太郎（幻冬舎文庫）

「栄光のバックホーム」中井由梨子(幻冬舎文庫)

ゼネラルプロデューサー：三田真奈美 プロデューサー：小玉圭太

企画・監督・プロデュース：秋山 純 脚本：中井由梨子

松谷 鷹也 鈴木 京香
ほけんの窓口
前田 拳太郎 伊原 六花 山崎 紘菜 草川 拓弥
萩原 聖人 上地 雄輔
古田 新太 加藤 雅也 小澤 征悦
嘉島 陸 小貫 莉奈 長内 映里香 長江 健次 ふとがね 金太
平泉 成 田中 健
佐藤 浩市 大森 南朋
柄本 明 / 高橋 克典



協力プロデューサー：橋本慎吾 小坂正記 若生早苗 西澤 祥 撮影監督：石栗尚徳 照明：松島祐夢 録音：戸部政明 制作担当：末岡加穂 監製：橋本 祐 スタジオ：小林哲士 美術監督：都賀京子
デザイン：山本高也 美術進行：小林知史 衣裳：船橋愛加 メイク：ナカサキ ステイキング：王 泳 スチール：香本志恵 タイアップ：西岡舞鶴 吉田美穂 Harumi Michael 脚本：江口貴勲 サウンドデザイン：石井和之 実行プロデューサー：竹本誠

主題歌：「栄光の架橋」ゆず (SENHA)

協力：阪神タイガース 福山ローズファイターズ ふくやまフィルムコレクション 徳島ふちゅうフィルム・コレクション 阪神猛虎会 方水 セキスト T.F.A. Association 植樹 インスペインク PFM イマジック ぴあぴーも 明治屋

協賛：SRホールディングス 五洋民機 ジェイワイブ 福山スポーツ雇用サポートセンター 山陽物産グループ フリージ 伊藤忠商事 明治実業 医療法人会館会 コンチナ TOPYAN フタバパンメヂカル ホルビー 福山臨海病院センター 方代 モスバーガー シェアホールディングス RIZAPグループ

Orchestra Holdings NEXYZ Group フタバパティ チャータービル エービーエムデザインズ CHARION プレミアムサービス メモリーグループ TRAD&Co 呉服通商興業有限グループ 株式会社 花王 ラグナラス 株式会社 意電広告社 グローバース 光邦

総監: 野々 浩典 制作: ジェン・秋山プロモイティブ 製作: 知事会 知事会フィルム JACO オキオ 電通 福山スポーツ雇用サポートセンター 五洋興産 青山メインランド TOPPAN 墨屋商事 ワーソル 寿永 スポーツエフエム新聞社 浅草山荘 徳木工業 オキオス World Wide Attrs MCT
 ©1995 墨屋商事・オキオ 制作委員会 (特)

2022年 阪神・淡路 10年ぶりのリベンジ優勝の

2023年、阪神タイガース18年ぶりのリーグ優勝の

GENTOSHA FILM 28年の生涯を駆け抜けた選手と古く続けた人たちの実話

「**「10月15日、五輪が非公式に延期された。」「大抵の観客は入場しなかった。」「**



TOKYO
INTERNATIONAL
FILM
FESTIVAL

ガラ・セレクション
新刊 新刊 新刊

图 1 所示为

に

に

功の

...

2023年、阪神タイガース18年ぶりのリーグ優勝の年に

28年の生涯を駆け抜けた選手と支え続けた人たちの実話、感動の映画化

GAGA★

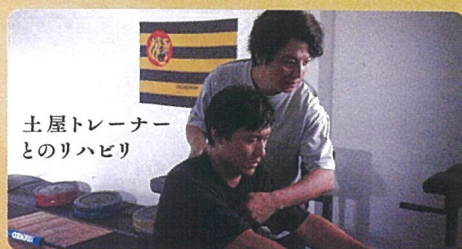
2023年、阪神タイガース18年ぶりのリーグ優勝。 胴上げで舞った【背番号24】のユニフォームに秘められた、 28年の生涯を駆け抜けた男の《感動の実話》

横田 慎太郎。2013年のドラフト会議で阪神タイガースに2位指名され、背番号24を背負う若きホープとして将来を期待されるも、21歳で脳腫瘍を発症。引退を余儀なくされた彼が最後の試合で魅せた“ラストプレー”は、野球ファンのみならず、多くの人々の心に深く刻み込まれた。その一球に込められたドラマを描いた横田選手の自著「奇跡のバックホーム」と、彼が2023年に28歳でその生涯を閉じるまで、家族と共に闘い続けた人生の軌跡を描いたノンフィクション『栄光のバックホーム 横田 慎太郎、永遠の背番号24』が、製作総指揮を見城徹と依田巽、『20歳のソウル』の秋山純が企画・監督・プロデュース、中井由梨子が脚本を務め、[幻冬舎フィルム 第一回作品]となる『栄光のバックホーム』として映画化。本作では、慎太郎の野球選手としての雄姿と、引退後の家族や仲間、恋人との知られざる軌跡が描かれる。主人公の慎太郎を演じるのは新人の松谷鷹也。亡くなる直前の慎太郎の元へ毎日通い、本人から譲り受けたグラブで“奇跡のバックホーム”を完全再現。W主演として母・まなみさんを演じるのは名優、鈴木京香。揺らがぬ息子への愛を体現する。そして、日本屈指の演技派俳優陣が物語を彩る。主題歌は慎太郎の心の支えで現役時代の登場曲だった、ゆずの「栄光の架橋」。阪神が18年ぶりのリーグ優勝を決めた2023年9月、甲子園球場で4万人の観客が慎太郎に向けて大合唱した不朽の名曲だ。野球と、家族と、人を愛し続けた彼の生き様は、きっと私たちに前へと進む勇気を与えてくれるだろう――。



慎太郎を見守る最愛の家族

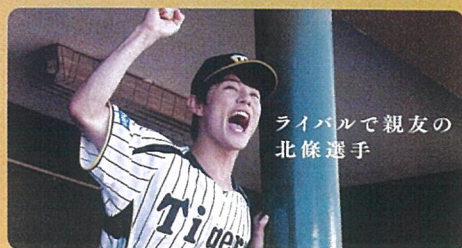
彼の夢を支え、ともに歩んだ道のり。それぞれのドラマ。



土屋トレーナー
とのリハビリ



田中スカウトに
引退報告



ライバルで親友の
北條選手



心の支えだった
幼馴染



最後まで
見守った記者

2026年 10月 18日 (日)

日本語字幕付きで上映します

八幡市文化センター 大ホール

＜上映時間＞

① 午前10時30分

② 午後1時30分

＜入場料＞ 前売 1000円(当日1200円) 3歳以上有料

*障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方、介護者1名は100円引きです

●前売券発売中：八幡市文化センター/八幡市立生涯学習センター/松花堂庭園・美術館

主催：(公財)やわた市民文化事業団 ☎ 075-971-2111/京都映画センター ☎ 075-256-1707